（５）動物

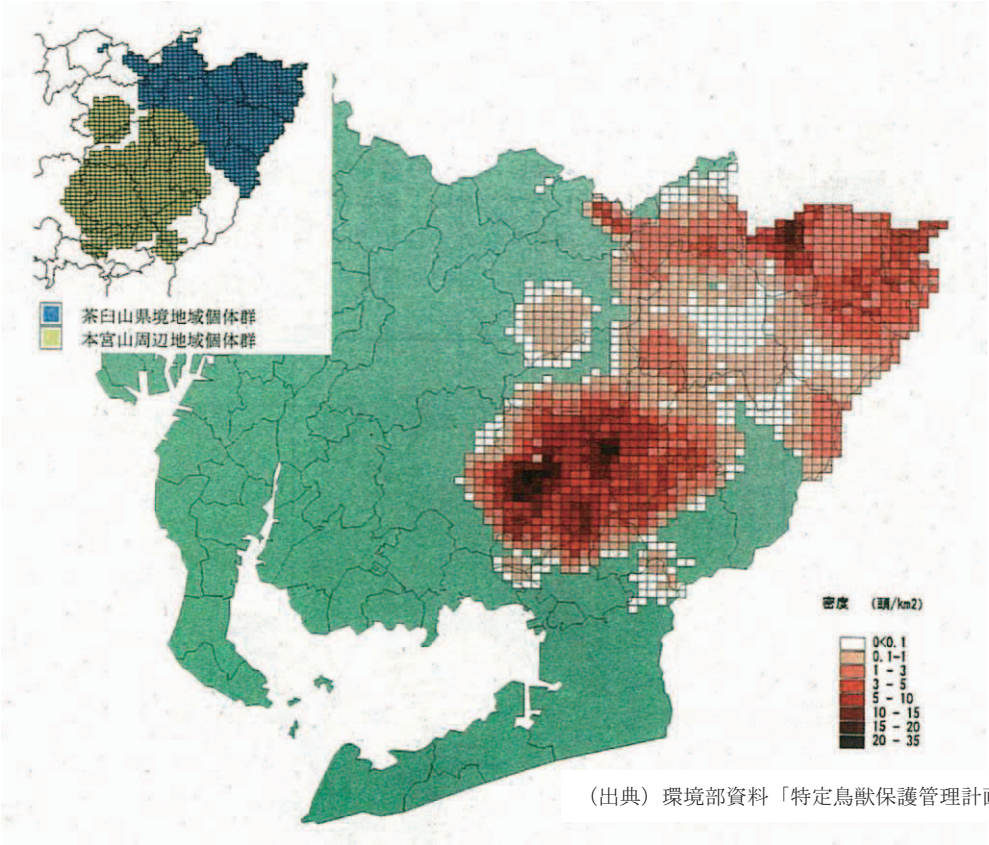
奥山には、多様な植生や地形が存在しているため、多様な動物の生息が確認されている。「レッドデータブックあいち 2009」に記載されている種は、哺乳類 18 種、鳥類 40 種、爬虫類２種、両生類７種、淡水魚類２種、昆虫類 60 種、貝類 14 種と多く、多様な環境が存在していることを反映している。

鳳来寺山周辺や茶臼山周辺、面ノ木峠周辺など自然性の高い森林を含む地域では、森林性のムササビ、ヤマネ、オオアカゲラや樹洞等を利用するチチブコウモリ、テングコウモリ、コノハズクの生息確認記録がある。また、東栄町の岩場の多い場所では、キクガシラコウモリ、モモジロコウモリ等の洞窟性のコウモリの生息確認記録がある。そのほか、自然性の高い渓流では、カワネズミやヒダサンショウウオ（写真２－２）などが、湿地では、ヒメタイコウチなどが、草原では、ギンイチモンジセセリなどの生息確認記録がある。また、人里に近い場所では、カヤネズミやモリアオガエル、ギフチョウなどの生息確認記録がある。

また、近年では、ニホンジカ（写真２－３）については、茶臼山など個体数密度が高い地域が見られるとともに生息域が拡大している。こうしたことにより、農林業被害や植生に対する影響が生じている（図２-10、図２-11）。

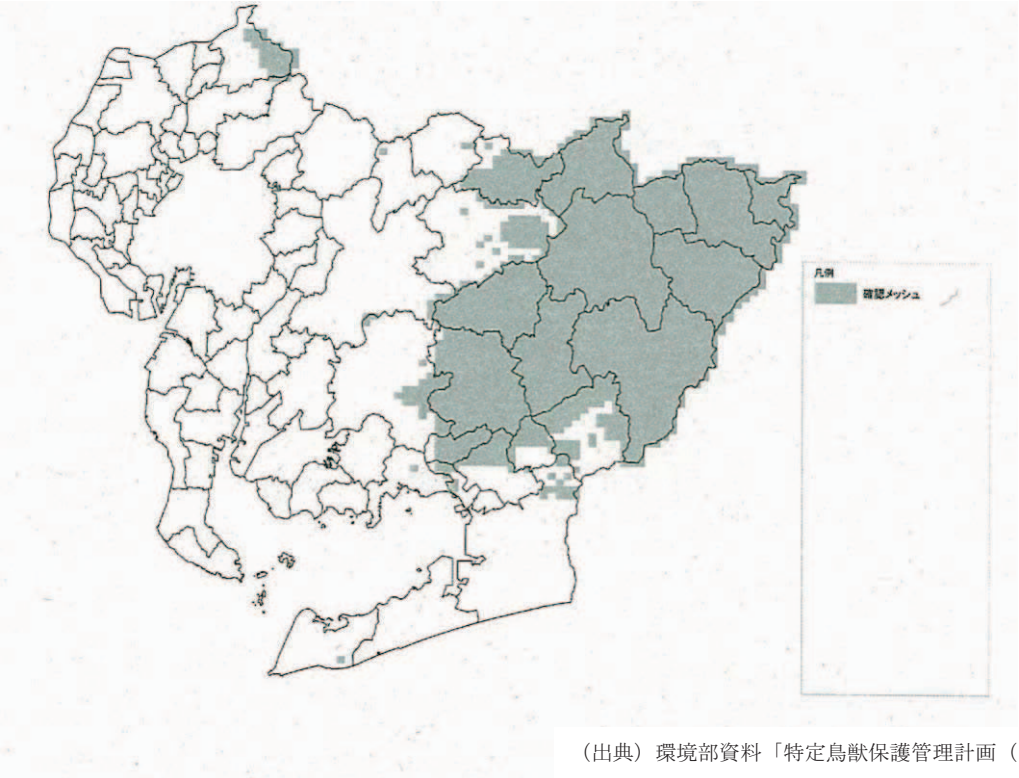
写真２－２　ヒダサンショウウオ

写真２－３　ニホンジカ



（出典）環境部資料「特定鳥獣保護管理計画（ニホンジカ）」

図２－10　ニホンジカの生息分布と密度分布（平成 15 年度）



（出典）環境部資料「特定鳥獣保護管理計画（ニホンジカ）」

図２－11　ニホンジカの生息分布（平成 17 年度）